

『本バスめぐりん。』 東京創元社 大崎 梢／著

東京近郊の種川市で3,000冊の本を積んで走る移動図書館は、通称「本バス」、愛称「めぐりん号」。担当は、定年退職後に働き始めた新人運転手テルさんと、若くて元気いっぱいの司書ウメちゃん。

個性豊かな利用者とのやり取りを通して、返却した本に挟んだままの写真の行方や、バスに置かれた謎の封筒など、巡回先で起こる問題の解決に2人が奮闘する。



めぐりん号を中心に人と人が出会い、つながっていく。移動図書館を知る人も知らない人も行きたくなるはず。我孫子市の移動図書館「そよかぜ号」を利用しては。